

大宮学舎140周年 特別講義

「カルピス」の生みの親
三島海雲に学ぶブランド
を通じた社会貢献

380
YEARS
ANNIVERSARY
大宮学舎140周年

You,
Unlimited



文学部特別講義

「カルピス」の生みの親、三島海雲に学ぶブランドを通じた社会貢献

日時：2019年12月19日（木）10:45～12:15（入場は10:30～）

場所：大宮学舎 東覺101教室

講師：大越 洋二氏（アサヒ飲料株式会社常務執行役員 マーケティング本部長）

〔対談者〕入澤 崇 龍谷大学学長、〔進行〕安藤 徹 龍谷大学文学部長

申込：不要

定員：200名 ※木2講時仏教学概論A受講者を除く

問合せ：龍谷大学文学部教務課

let@ad.ryukoku.ac.jp

075-343-3317

大越 洋二氏 プロフィール

1984年4月早稲田大学卒業。
カルピス株式会社入社後、マーケティング、
事業運営に携わり、米国、タイ国駐在
を経て2013年9月アサヒ飲料社入社。
2015年1月より現職、現在に至る。



記念カルピスを
プレゼント

主催：龍谷大学文学部



三島海雲は、皆さんの
大先輩にあたります!!

三島 海雲
(みしま かいうん)
1878年－1974年

1878年（明治11年）大阪府いまの箕面市の浄土真宗本願寺派寺院に生まれる。

文学寮※を卒業後、英語教師として、山口の開導教校に赴任するも、その職を辞し、高輪仏教大学※に編入。そして、24歳の時、中国大陆へ渡り、土倉五郎と北京で雑貨貿易商「日華洋行」を設立する。

やがて仕事で訪れた内モンゴルの地で、遊牧民の活力源と言われる酸乳（発酵乳）に出会い、1915年（大正4年）帰国後、自らの内モンゴルでの体験をもとに、乳酸菌を活用した食品の事業化に取り組み、1919年（大正8年）7月7日七夕の日に、日本初の乳酸菌飲料「カルピス」を発売。

「カル」はカルシウム、「ピス」はサンスクリット語のサルピス（乳）からとったものと言われる。水玉のデザインは天の川、銀河の流星をかたちどったもの。

三島海雲は「カルピス」を日本を代表する飲み物に育て、長く経営の第一線にありましたが、1962年（昭和37年）84歳のときに、全私財を投じ三島海雲記念財団を設立し、1970年（昭和45年）91歳で取締役社長を勇退されました。

※文学寮および高輪仏教大学はいずれも本学の前身